

県が開発した独自のブランドイチゴ「岐阜いちご」のフェアが、名古屋市中区錦のカネ井青果センทรัลパーク店で開かれ、新鮮で甘さ抜群の岐阜いちごの魅力をアピールした。

J A全農岐阜主催。県の農産品の大都市プロモーションはコロナ禍で思うように開催できずにいたが、イチゴは旬を迎えていることもあり、岐阜市内に本社があるカネ井青果と共に実施した。

岐阜いちごは芳醇^{ほうじゅん}な甘い香りと濃厚な甘さが特徴の「濃姫」、甘みと酸味のバランスに優れた

岐阜いちご 甘さPR 名古屋で



ずらりと並んだ岐阜いちごを買い求める客＝名古屋市中区錦、カネ井青果センทรัลパーク店

「美濃姫」と大粒でジューシーな果汁が売りの「華かがり」の3品種の総称。今回は売り場の一角で3品種計300パックと、通常よりも形がよく大粒な華かがりの化粧箱10ケースを販売した。

コロナ禍で試食はできなかったが、ポップ広告を駆使して販促し、帰宅ラッシュの客がにぎわう夕方に完売する人気ぶりだった。J A全農岐阜の担当者は「リピーター客も多く、岐阜いちごの認知が着実に広がってきた」と自信を深めていた。

(富樫一平)